



# 学院時報

No.89

平成29年10月1日発行

## 聖ドミニコ学院

幼稚園・小学校  
中学校・高等学校

〒980-0874

仙台市青葉区角五郎2-2-14

URL: <http://www.dominic.ac.jp>

T E L 022(222)6337

F A X 022(221)6203

北仙台幼稚園

〒981-0914

青葉区堤通雨宮町11-11

TEL-FAX 022(234)3615

### 聖ドミニコに学ぶ

学校法人聖ドミニコ学院

理事長 小学校校長 鈴木かな子



幼稚園・小学校・  
中学高等学校の「ド  
ミニコ祭」が聖ド  
ミニコ学院らしい  
温もりの中で開催  
され、ドミニコ家族の輪を多くの方々と分  
ち合われた日となりました。

「すべての人を愛したので、すべての人が  
彼を愛した」と言われている聖ドミニコは  
十三世紀、異端が蔓延るヨーロッパで、「真  
理の探究」をモットーとして活躍しました。  
そして聖ドミニコ学院は聖ドミニコの精神  
を今に受け継ぎ、「真理の探求」を学院のモツ  
トーとし、神の愛を生かす喜びを共有し合  
います。

### 聖ドミニコ学院の魅力

中学校高等学校

校長 小笠原朋之



本校に赴任し、早  
くも半年近く。朝の  
読書、朝礼のお祈り  
で一日が始まり、心  
が洗われます。

は、落ち着いた空気に包まれ、廊下等ですれ  
違う生徒たちはあいさつを忘れません。  
高校三年生の進路実現に向けた励ましと  
本校の特色を聴くため、五月半ばから高校  
三年生と面談を行い、七月からは中学三年  
生と面談しました。生徒たちは、「女子校な

れました。そして、一人一人に違った豊か  
な才能、可能性を与えてくださっています。  
たとえ、どんな欠点や弱さを持っていても、  
私たちは神から愛された存在であることに  
忘れてはならないでしょう。

この存在の根底には神からの使命、役割  
が個々に与えられています。ですから一人  
一人は神から必要とされて、今ここにいら  
るのです。この世界にいらない人は誰一人も  
いません。生きる価値の無い人もいません。  
仲間に対しても同じです。神が必要として  
いる大切な相手、お互いに必要とする相手  
なのです。

聖ドミニコは正に一人一人の存在を尊ぶ  
心を徹底して生きた方です。そのひとつに  
次のような逸話が残っています。

ある日、聖ドミニコは旅の途中、異端が  
蔓延っていた南フランス・ツールズで宿  
をとった時、異端であるカタリ派の宿屋の  
主人と出会いました。その時、  
ドミニコは、相手を打ち負かそうとして  
ではなく、自分が確信するところを相手に  
伝えようとして話す。熱烈ではあったが、

らでは「のびのびとした」環境で学年や  
コース、クラスの枠を超え、学年が進むに  
つれ友達関係から家族のような関係になっ  
ていく。「漫画やアニメの影響から女子校  
に対し「いじめ」など、どうもどうもとした怖  
いイメージがあったが、ドミニコに入った  
ら同じ目標をもった人たちと出会い、悩み  
を共有し、励まし合うことができた。と話  
してくれました。いつの間にか互いを尊重  
し、分かり合える関係に成長していく様子  
が見えてきました。また、運動会や文化祭  
等の学校行事からは、みんなが学校をよく  
していることと心一つになる姿がありました。  
先生方に寄せる信頼を「先生と生徒の関係  
が近く、相談すると自信につながる」が  
返ってくる。先生が生徒一人ひとりを見守  
り、生徒たちの成長に寄り添ってくれる。」

決して威嚇的ではなかった。これはドミニ  
コの「貫いた姿勢」であった。(武田孝子著「聖  
ドミニコの生涯」)

こうして聖ドミニコは彼を神から愛され  
た一人格者として、夜を徹して対話し、宿  
屋の主人を神の光へと導いたのです。人は  
相手の間違いを指摘しなくなり、また自  
分の論理に勝利を求めたくもありません。  
でも、互いに相手から学ぼうと言う姿  
勢を持った時、私たちの対話は実を結ぶの  
でしょう。

聖ドミニコ学院はひとつの家族となつて、  
神から与えられた個々の才能、可能性を共  
に輝かせる努力をし、他者と共に生きるこ  
とを学ぶ大切な場としています。更に、子  
供たちはみんなの幸せを考え、一人一人は成  
長の段階を踏んで人との関わりを学んでい  
く場でもあります。他者が幸せであるため  
には他者を助け、また自分も助けられる存  
在になるように共に生きる力を育むのです。  
このようにして子供たちが聖ドミニコの  
精神に生かされ、次の時代を生かす人とし  
て成長することを願って祈ります。

と話していました。なにより私が感心し  
たのは、全員が自分の進路について自信を  
もって応えられたことです。「真理」(ヴェ  
リタス)は建学の精神を一言で表す言葉で  
す。ここには、「あなたはどうか生きるのだ  
か」という問いかけがあります。面談から  
私は一人一人が建学の精神を体現し、成長  
していることを実感しました。  
本校をよく知る外部講師の方は、ドミニ  
コを一言で表すなら「アットホーム」。愛に  
敷居が高くなく、ありのままに受け入れて  
くれ、包みこんでくれる。ドミニコのような  
学校はなくてはならない。女子力を磨く  
にはとても適しているとも評されていました。  
ありがたいことです。あせらず、やす  
まず、あきらめず。開かれた学校として前  
進していきます。

## 第40回 宮城県私学振興大会

- 日時 平成29年10月25日(水)  
午後1時30分～4時30分(午後12時30分大場開始)
- 会場 電力ホール(電力ビル7階)  
仙台市青葉区一番町3丁目7-1  
TEL 022-225-2251

### ★生徒出演

第一部 聖ドミニコ学院 小学校合唱団・中学校高等学校バトントワーリング部  
小学校合唱団は、平成28・29年度NHK全国学  
校音楽コンクール宮城県大会で2年連続金賞を受  
賞。またTBC子ども音楽コンクール東北大会出場  
や宮城県合唱アンサンブルコンテストでも最高賞  
を受賞しています。

中学校バトントワーリング部は、全日本バトントワーリング選手権東北大  
会ならびにマーチングバンド&バトントワーリング東北大会に毎年のように出  
場しています。今年の夏、宮城県内で開催された「文化部のインターハイ」、全  
国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)では、宮  
城県代表としてフロア演技ならびにパレードに  
参加しました。

### (曲目等)

- 合唱団の演奏: ①「アヴェマリア」②「いまだよ」  
③「まいごのひかり」④「にじいろ」⑤「糸」他
- バトントワーリング部の演技: ①「パレーツ」②「アラジン」③「医龍」

### 第二部 「みやぎ総文私立合同バンド」

～明成高、仙台南高、聖和学園高、東北学院榴ヶ岡高による～

★大会参加を希望される方は、本学院後援会小中高事務局へ事前にお申し込み下さい。

### 聖書のことば

主に望みをおく人は新たな力を得、  
驚のように翼を張って上る。  
走っても弱ることなく、  
歩いても疲れない。

(イザヤ書40章31節)

(中学校高等学校  
副校長 Sr. 柚木 洋子)

人間も地上のすべてのものも衣のよう  
に古びる(詩編102・27)ものであるのに、  
神には何一つ朽ちるものもなく、すべて  
が新しい。しばしば動物や初子が神に捧  
げられたのは、人間の使用以前の新しい  
ものは聖なる性格とされたから。  
遠く異邦の地での抑圧と差別の苦し  
みに満ちた生活は無意味で、神はご存  
じないのではないだろうか。イスラエ  
ルのこのような疑念は不測の事故や自  
然災害等を前にした現代人の「なぜ、  
私がかような日に」という疑問にも通  
じるのではないだろうか。  
しかし、神は無から存在を呼び出す  
方。この方が共にいて、弱り果てた者  
に力を与えられる。他に頼るすべを持  
たない無力の者が主に望みをおいて身  
を起すとき、力を得ると預言者イザ  
ヤの口を通して主は語られる。



共に感謝できる人に



幼稚園園長 森本 幸子

新約聖書ルカ17章11-19に重い皮膚病を患っている十人の人が、イエス様によって癒される話が載っています。イエス様の時代、重い皮膚病とはらい病のことであり、神様からも人(家族)からも断絶された存在であることを意味していました。その様な重い皮膚病を患っている十人がイエス様に憐れみを請い、清くされます。そして、その事に気付いた一人が大声で神様を賛美し、イエス様に感謝しに戻ります。他の九人は清くされたという出来事を、恵みとして感じ取るセンスに欠けていたようでした。当時、異邦人として差別されていたサマリヤ人一人だけが、清くされたという目に見える出来事の奥に在るものに気付く、神様に感謝するのです。私たちは子どもとの関わり、出来事を通して、さなぎが蝶になるのと同じ位の肉面的変化をみせられる瞬間(時)に出会うことがあります。そんな時、子ども自身の内から湧き上がる喜びを共に神様に感謝することができたら、どんなに素敵でしょう。

愛について



北仙台幼稚園園長 齋藤 潤子

私たちはミッションスクールでは日常的によく「愛」ということばを使います。「愛の教え」はカトリックの基本となっているのですが、それについて考える機会がありました。

六年間を通して育てる



小学校副校長 土井 智子

四月、幼稚園や保育園を卒園したばかりの一年生は、学校ってどんなところだろう、新しい友達ができるかなと、期待と不安が入り混じった思いをもちながら、入学式を迎えました。その一年生を笑顔で迎え、教室でお世話をしたのは上級生です。靴箱の位置を教えられ、教室でランドセルの開け閉めと一緒にしてもらっているうちに、緊張していた一年生の顔が笑顔になっていきました。

五月に行われた運動会では、六年生が中心になって練習から当日の運営までを行いました。本校は、一学年一クラスです。六年生一人一人にかかる責任は重く、校庭の端から端まで汗びっしょりになって走り回る姿に、「大丈夫?下級生に手伝ってもらおうよ。」と声をかけると、「僕たちだけです。それが、六年生としてのプライドです。」という答えが返ってきました。

六年間の子供の成長には目を見張るものがあります。それは、目に見える体の成長や点数で測る学力の伸びだけではなく、置かれた立場で、自分のすべきことを黙々と果たす責任感、相手の事を考える喜んでもらおうと行動する優しさ、協力して物事を進めることに喜びを感じる連帯感、そうした目に見えない、測ることの出来ない力を、子供たちは日々の生活の中で身に付けています。小学生は、その吸収力の大きさと群を抜いている年代とも言えるでしょう。だからこそ、この大切な時期に、人が生きていく上で何が大切かを、一緒に考えられる子供に育てていきたいのです。助けられた経験、喜んでもらった体験、努力した出来事、仲間と一緒に乗り越えた体験、そして時には失敗した経験を通して、信頼する力をつけさせていきたいのです。ちょっと学校行事が他より多いかなという印象を本校におもちの方がいらっしゃるかもしれませんが、私達は生きていく上で根っこになる部分を、体験を通して大切に育てていきたいと考えています。

私たちが「愛」を伝える時、相手が愛と感じられるものなのか、それに反して重く感じられるケースもあるのではないかと。価値観が多様化している今、相手の存在価値を認めながら共に生きていくという事は、相手を理解するという前提からも難しくなってきたかと思えます。なぜなら、情報過多と個を尊重する風潮や環境がコミュニケーション不足を助長しているからです。相手を喜ばせようと思いたことが迷惑であったり、あえてそっとしていただく、もつと関わって欲しかったなどという事もあります。人の心の複雑さを理解し、相手と思いを共有していくという事は、本当に難しいものがあると感じています。「愛について話す事は難しくできないけれど、何気ない日々の生活、衣・食・住の中に愛は込められていると思う」と発言

した人がいました。確かに、誰かにして貰ったら嬉しいと思うことを日常生活で無意識でして実行しているという事はあります。余りにも自然に生活の一部として溶け込んでいるため、何かのきっかけがなければ「愛」と気づかないまま過ごしてしまいがちという経験もします。私たちの周りには「愛」とは、コリントの信徒への手紙一・十三章の通りなのかもしれません。「愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてをしのび、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。」「愛」とは親の子に対する無償の愛そのものだと改めて思いました。

平成30年度 園児募集

聖ドミニコ学院幼稚園

2018年度(平成30年度) 園児募集日程

- 願書配布開始 10月2日(月)
- 入園説明会 10月11日(水)
- お楽しみイベント 要予約 10月20日(金)
- 体験入園 要予約 10月13日(金) 17日(火) 18日(水)
- 願書受付・入園面接 11月1日(水) 手続き・用品注文

2018年度(平成30年度) 園児募集について

- ◎満3歳児(4年保育) 15名
- ◎3歳児(3年保育) 45名
- ◎4歳児(2年保育) 若干名
- ◎5歳児(1年保育) 若干名
- (入園願書受付) 11月1日(水) 7時30分(場 所) 聖ドミニコ学院幼稚園(提出物) 入園願書、家族写真(入園面接) 検定料(5千円)(入園手続き) 入園許可された方は、入園料(4万円) 教育充実費(3万円) (用品注文) カバン・上靴・お道具等 ※詳しくは、募集要項をご覧ください。

2018年度(平成30年度) 園児募集について

- 願書受付・面接・手続 11月1日(水)
- 3歳児(3年保育) 40名(弟妹枠含む)
- 4歳児(2年保育) 若干名
- 満3歳児(4年保育) 若干名 (空きがあった場合のみ)
- 入園願書受付 11月1日(水)
- 場 所 聖ドミニコ学院北仙台幼稚園
- 提出物 入園願書用封筒に 記載してある書類
- 検定料 5,000円
- 面接 親子面接
- 入園手続き 入園許可された方は 入園料4万円 施設協力費2万円を納入

平成30年度 児童募集

聖ドミニコ学院小学校

- ★入試について
- 【募集人数】 1年生 40名(男・女)
- 【願書受付】 9月11日(月)～10月31日(火) ※土・日・祝日を除く。
- 【入試日】 11月4日(土)
- ★学校見学について
- 【日程】 10月3日(火)～10月4日(水) 9時30分～13時
- 【対象】 幼稚園・保育園の園児とその保護者、幼稚園や保育園の先生、その他、関心のある方はどなたでもいらしてください。
- 【申し込み方法】 直接おいでください。

幼稚園

夏祭りバザー



父母の会 会長 碓石真希子

七月一日(土)、甚平や浴衣姿の子どもバザーが開催されました。当日は雨の心配がありましたが、行列の絶えない程、多くの方々がご来園くださり、深く感謝申し上げます。園内は、子ども達が製作した作品と共に、保護者の皆様が工夫を凝らして作ってくださったたくさんのお飾りが、夏祭りバザーを一層華やかにしてくれました。夏祭りバザー委員の皆様が主になり、クラス毎に企画運営してくださった食品、子どものお買い物、ゲームコーナー、日用品バザー、これらすべて大盛況の下、無事に終えることが出来ました。これもひとえに、四月から夏祭りバザー開催に向けて、ご尽力いただいた委員の皆様をはじめ、保護者の皆様、先生方の温かいご協力のおかげであり、重ねて御礼申し上げます。これからも、先生方と共に子ども達により添い、笑顔が絶えない園生活を見守っていきたいと思います。



保育泊まりお祭り



七月十三・十四日に年長児の大イベント、お泊まり保育を行うことができました。今年のテーマは「ドミニコ元氣祭り」ということで、クラス毎お神輿作りを行い、ワクワクドキドキしながら準備を進めてきました。そして迎えた当日、大きな荷物を持って登園する子ども達は期待と不安で複雑な表情でした。そこへ、お祭り大好きなゲンさん登場!! 一気に気持ち盛り上がり、はっぴを着て元氣一杯にお祭りを楽しむことができました。その後は、野菜切りを行い皆でカレー作りをしました。子ども達は「世界一のカレーだね!!」と大満足。そして日が暮れてからは、キャンプファイヤーや小学校の屋上から花火を見て過ごしました。子ども達は宿泊するヴェリタス館に移動し、入浴を済ませて、皆で楽しかった一日を振り返りながら眠りにつくことができました。子ども達は、ぐっすり眠り、目覚めも良く、二日目も元気に過ごすことができ、楽しかった思い出が沢山できました。子ども達一人ひとりが最後まで頑張り、たお泊まり保育。ひと回り成長できた年長児でした。



交通安全教室



七月七日に幼稚園のホールで交通安全教室が行われました。最初に来てくださった指導員にみんなが元氣に「よろしくお願ひします!!」のご挨拶をし、期待を持って始まりました。ピカチュウとカビゴンと一緒にチャイルドシートのお約束や道路を渡る時は横断歩道を使って渡る事など交通安全について楽しみながら学びました。ポケモン達の問いかけにも大きな声で答えていました。その次は体を元気に動かして体操をして、いよいよ横断歩道を使って横断歩道を渡る練習!! お友達と指導員と一緒に車がないか、危なくないか確認したら右手をまっすぐあげて素敵な姿で渡りました。最後には、一人一人にピカピカ金色の交通安全免許状をもらうことができました。笑顔が溢れていました。



外遊び・プール



「外で遊ぶの大好き!!」子ども達は毎日楽しみにしている外遊び。砂場では、「いらっしやいませ!!」とお店屋さんごっこやまごごが始まり、葉っぱやキラキラ輝く石などを沢山拾って友達と見せ合ったり、友達を誘ってサッカーをしたりと、楽しい時間を過ごしています。「さすが遊びの天才!!」

子ども達が待ちに待ったプールでは、「冷たい」と言いながら夏の暑さも忘れるほど、友達と水遊びを満喫しています。ペットボトルで作った水鉄砲が大好きで、空に向かって放つと「にじだ!!」と子ども達は大興奮!! 子ども達の素敵な笑顔と水しぶきは、とてもキラキラと輝いています。その季節ならではの遊びを楽しみ、思い切り体を動かして遊んでいます。その中では、子ども同士で関わり合い、友達の存在の大切さ・協力する喜びを感じ、人間関係を築きながら、毎日楽しさの中で育まれています。



# 北仙台幼稚園

## ドミニコまつり

七月一日に幼稚園でドミニコまつりを行いました。梅雨入りし雨が心配でしたが、なんとか曇り空の中、園庭で行うことができました。園庭には、先生たちが行うゲームコーナーがあり、楽しそうな子どもたちが賑わいを見せていました。ゲットした商品を手に、とても嬉しそうな表情を見せてくれました。

最後にホールでは、大道芸人JTさんによるマルチバフォーモンスショーが行われました。ジャグリングにマジック、バルーンアートに驚きのこえや拍手でいっぱいになり、大盛り上がりのお祭りとなりました。



## お泊まり会

七月十四日からの一泊二日、年長児はお泊まり会をしました。当日は天候が危ぶまれたものの、仙山線に乗り天台やドミニコの家に行ったり、園に戻ってからはカレー作りや布団敷き、スイカ割りやプール遊び、夜は花火大会など友だちと力を合わせて楽しむことができました。寝る時は少し不安な様子を見させていたものの、翌日起きた子ども達からは自信が感じられました。

大好きな家族と離れてのお泊まり会を経験し、子ども達も心も体もひとまわり大きく、たくましく成長することができました。



## 祖父母招待

九月二日、敬老の日を前に園児の祖父母の皆様を園に招き、祖父母招待が行われました。当日は、全国各地から参加して頂きました。園児たちは大好きなおじいちゃん・おばあちゃんと一緒に遊んだり、折り紙を教えてもらったりと、いつもとは少し違う表情で過ごす姿が見られました。また、おじいちゃん・おばあちゃんに、一生懸命練習を重ねてきた歌や踊り、楽器など学年ごとの発表をプレゼントし、たくさんの暖かい拍手を頂きました。

この日はいつもとは違う子どもたちの表情が見られ、楽しく過ごすことができました。



## プール遊び

六・七月の天気が良い、暖かい日にプール遊びを行うことができました。子どもたちはプールバッグを持って登園し、「今日はプールに入れるかな」とワクワクした表情が見られました。年少児にとって初めてのプール。楽しい雰囲気や不安な気持ちで準備をする様子が見られました。学年ごとに着替えを行い、脱いだ服などの畳み方や片付け方を一つずつ教えてもらいながら行っていきます。新しく買ったもらった水着やお気に入りの水着に着替えていよいよプール遊びの始まりです。裸足のままプールに入っていきます。プールの水は少し冷たく、「冷たい」「気持ちいい」と喜ぶ姿が見られました。プールの中では水を体に浸け、慣れる練習から、ボール遊びや体全体を水に浸けて泳ぐ姿が見られました。梅雨の中でしたが、プールに入れて楽しい夏を過ごせました。



## 交通安全教室

七月四日に公益財団法人仙台ひとまち交流財団の交通安全指導員の方々にお越し頂き、交通安全教室を行いました。子どもたちに人気のポケットモンスターの人形劇を通して、チャイルドシートやシートベルトの大切さを確認したり、信号機の見方を覚えて、道路を渡る時は横断歩道を渡るということなどを学びました。

子どもたちはピカチュウやカビゴンと一緒にクイズに挑戦してたくさん正解し、大盛り上がりでした。その後は楽しい音楽に合わせて体操をし、最後は横断歩道を渡る練習です。少し緊張した様子の子もたくさんは真剣な顔で、車が来ないか左右を確認して渡りました。ピカチュウたちとの約束を忘れず、これからも安全に気をつけて過ごしましょう。



## たのしかったうんどうかい(9月)

年少児にとって、ドキドキワクワクの初めての運動会。「どらねこロケットンロール」を三十八匹のかわいい猫に変身して踊りました。

練習を始めた時はそれぞれの思いのままに行動していた年少児でしたが、回を重ねるごとにみんなと一緒に踊る楽しさを味わっているようでした。そして何と云って言葉のバワー!「ひよこさん頑張れ!」「上手!」「かわいいよ!」と声をかけてくれる年長児と年中児と一緒に踊って励ましてくれたおかげで、年少児もびびりなく踊ることができました!



年中児は運動会に向けて、かけっこやボンボンを使ったダンスの練習を頑張ってきました。ダンスでは、「ハロー!サンキュー!」という楽しい曲に合わせて、元気いっぱいにボンボンを振って、本番でも楽しく笑顔で踊ることができました。

かけっこでは、「一番になりたい!」という気持ちで、手をいっぱい振って走りました。親子競技では、お父さんお母さんと一緒に宝石に見立てたボールを落とさないように運びました。どの競技でも一生懸命に頑張った子どもたち、少し年長さんに近づけたね!

年長児は組体操・バルーン・リレーで毎日何度も練習してきた成果を発表することができました。

組体操・バルーンでは、練習の時はなかなか上手にできない技がありましたが、諦めずに何度も練習を重ねてきました。当日は大成功で大きな拍手をもらい、子どもたちの自信に満ちた表情は忘れられません。

リレーも当日まで順位が分からず、ハラハラドキドキでした。一人ひとりが最後まで責任を持ってバトンをつなぎ感動を届けてくれました。



# 小学校

聖ドミニコ学院小学校には年間を通して様々な行事や体験教室があり、その一つが子供たちの心・礼・知の育成に役立っています。

それらを通して成長する子供たちの取り組みの様子を作文やインタビュー記事でご紹介いたします。

## 五月の運動会

運動会では一年生から六年生までのたてわり六チームが競い合います。今年もどのチームも優勝を目指して一致団結し各々が力を出し切りました。また、徒競走・玉入れ・綱引きなどの得点競技に加え、学年ごとにダンスやリズムなわとび、組体操も披露し盛り沢山のプログラムでした。

### 「いをめざしたほく、すこいよ」

一年 永田 煌和

ほくはリレーがはじまるまえ、きもちがわくわくときどきしてました。でも、みんながおうえんしてくれたから、ちからいっぱいがんばりました。

いっしょけんめいはいしたけど、三いいでした。でも、みんなであわわわわががんばったので、うれしいきもちでした。おとうさんから

「もうすこし、スタートダッシュができるといいね。」

と、アドバイスをもらったので、らいねんはいいいスタートができるようにがんばりたいとおもいます。

「がんばったリレー」

一年 実谷 健人

バトンをわたすとき、イエローのチームは、やくそくをきめました。バトンをわたすときには、ぜったいにおとさないというやくそくです。

リレーがはじまりました。バトンをわたすとき、みんなでやくそくをまもりました。だからこそ、イエローがリレーでいちをとったのです。

らいねんはどのいろになるかわからない

### 「ダンスのえがお」

一年 星台 彩愛

ダンスでならばと、わたしのはしよがわかりませんが、ともだちがおしえてくれました。やさしくてころろがあたたまりました。さいごには、たくさんのほくしゅをもらうことができました。

らいねんは、なわとびにちようせんします。そのときは、えがおがだいじだとおもいます。ダンスをみんなでおどったときも、えがおのおかげでとてもたのしかったので、まるでまほうみたいだとおもいました。らいねんも、えがおのまほうでがんばりたいとおもいます。



### 「楽しかった玉入れ」

二年 増田 悠人

五月二十日は、うんどうかいがありました。晴れたのはよかったです。ものすここのうんどうかいの中で一ばん楽しかったのが、玉入れです。

一かいせん、二二年生のみがやるときは、すこがばんばりました。二かいせんでは、二二年生が、たまをひろって、おとうさんやおかあさんにわたしました。

二かいせんでは、わたしたちがわたしたのか、けつかは五十六こ入れて、六いでした。二年はさんねんなけつかですが、らい年はかならずゆうしようしたいです。

さいしゅうで、ぼくたちのイエローサブリマリンのけつかは三いでした。ゆうしようできなかったのはやくしですが、きよ年六いだったので、じゅんいが上がってよかったです。

### 「楽しかったうんどうかい」

二年 中村 奏翔

土よう日にうんどうかいがありました。うんどうかいでは、ときようそうをしました。一位をとることができてとてもうれしかったです。

またらい年も一位をとりたいです。ホワイトホースは玉入れで八十一こも入れました。八十一こは、いままでさいこうさろくだとおもいます。

つなひきれんしゅうではなかなかかてなくて、まけるとおもいましたが、ぜんしゅうしてとてもうれしかったです。

けつかは、ホワイトホースが一位でした。とびあがってよろこびました。またらい年のうんどうかいが楽しみです。

### 「すこがばんばったうんどうかい」

二年 大西 ほる

わたしは、こしはブルーファイターズでした。ブルーファイターズは、わたしたち一、二年生がやった玉入れで一位をとりました。

でも、わたしが一ばん楽しかったのは、リズムなわとびでした。なわとびをとんだり、おどったのを一回もまちがえないうでできました。

くやしかったのはときようそうです。がんばってはしたけど、四位でした。



だけど、さいごのけつかで、ブルーは二位でした。それれんしゅうでまけたピンクパンサーやイエローサブリマリンにちました！わたしはすこうれしかったです。

らい年のうんどうかいは、ときようそうも玉入れも、おうえんのこえも、ぜんぶで一位をとれたらいいなと思います。

つきは、イエローカレドになってみたいです。

## 洛風苑訪問

聖ドミニコ学院小学校では、総合学習の活動で、全学年の児童が、特別養護老人ホームに訪問をしています。輪になって風船パレーをしたり、「一緒に歌ったりなどして過ごして、「また来ます。」と約束をして帰ってきます。

### 「あたたかい心」

三年 玉井 陽

らく風えんに行きました。おじいさん、おばあさんたちと遊んで、茶つみも歌いました。みなさんとてもうれしそうな顔をしていました。

「楽しかったよ。」

とさい後に言ってくれて、ほくもとてもうれしかったです。学校にもどるときも、おばあさんたちが手をふっているのを見て、「また来てね。」と言ってくれているように思いました。

そして、なんだか、気持ちがあたたかくなっているように感じました。

いいことをしても、「ありがとう」と言ってもらっても、人は心があたたかくなってくるんだなと思いました。次は、ほくのときいなことを見せてあげたいです。

### 「らく風えんで」

三年 井上 紗羽

今日は、らく風えんに行きました。三年生全員で、二台のバスにのっていきました。らく風えんに着いて、さい初におむかえしてくださったのは、かいしさんでした。かいしさんのしじで、七たのおり紙をすることにしました。みんなでおひめさまの頭をおつみせたら、おじいさん、お

### 「洛風苑でのできごと」

三年 菅野 桃生

今日三年生は、二、三、四時間目に、洛風苑に行きました。

おじいさん、おばあさんたちは、細かい作業があまりうまくできないようでした。今回は、おりひめとひこ星のおり紙をおりましたが、カッターやボンドを使うむずかしいおり紙だったので、ほくはたくさん手つだいました。手つだったら、おばあさんたちはすこゆるこんでくれました。

おばあさんたちが、とてもやさしいえ顔をしてくれたので、ほくは本当にうれしかったです。

来年もまたここに来て、お手つだいをしたいです。



### 恐竜教室

六月二十一日に四年生以上を対象に「恐竜教室」を行いました。  
講師として、以前本校で理科を教えて下さり、現在、福井県恐竜博物館で副館長をされている野田芳和先生(福井県立大学恐竜研究所客員教授・アジア恐竜学会執行事務局長)をお招き致しました。



以前から恐竜に興味を持っていた児童一人に恐竜教室に参加しての感想をインタビューしました。

#### 「僕と恐竜」

五年 飯田 遼

「恐竜に興味を持ったきっかけを教えてください。」  
二年生の頃にテレビ番組を見てもっと知りたいと思ったのがきっかけです。その後おぼあちゃんに図鑑を買ってもらって、二百種類くらいの恐竜の名前をあっという間に覚ええました。今では、何も見なくてもリアルに恐竜の絵を描くことができます。最近は生命大躍進という内容のビデオもよく見えています。

「恐竜教室に参加しての感想を教えてください。」  
お話を聞いた恐竜については大体のことは知っていましたが、地層のことはあまり知らなかったのが初めて聞くことも多くありました。教えて頂いたことをメモしたので、それをもとに自主的に家で紙にまとめています。古代生物や恐竜を分類したり進化の様子を図にしたりしています。  
今は将来の仕事につながることは考えていませんが、恐竜がとても好きなので、今後も新たな情報を常に得られるようにしたいと思っています。

●恐竜新聞  
五年生が恐竜教室で学んだことを新聞にまとめました。



#### プログラミング教室

七月二十六日、八月八日、八月九日の三日間にわたり、ドミニコ・キッズでプログラミング教室が行われました。  
講師として、仙台に拠点を持つプログラミングスクール「Bandoo」の先生方をお招き致しました。



#### 「苦手な人も楽しめる」

五年 菊地 涼葉

「参加してみて、どうでしたか。」  
自分で考えて作る部分が多かったので、最初は難しかったです。画面の上のキャラクターを、自分たちが動かすのですが、段々慣れてきて色々な動きができるようになりました。最後には、自分で好きなように動かせるようになったのでとても楽しかったです。今回作った作品は、ドミニコ学院小学校の

給食がおいしいということをアピールするためのプログラムです。チームの中で担当する場面を分けたのですが、私が担当したのは、「ランチルームに来た人が、食べ物美味しい」と言っている場面です。言葉で表すと簡単ですが、ランチルームに入っているだけで、「最初は表示されていないキャラクターが〇秒で表示されて、どこまでどういう速度で進んで、止まったら台詞が表示されるようにして」というように、ひとつひとつ動き方を指定しないといけないんです。その方法が分かってくると、次の動かし方がどんどん工夫できるようになって、とてもわくわくしました。

「次、機会があったらどんなものを作ってみたいですか。」  
パソコンの中ではなくて、現実の世界で、「何が欲しいか言っただけで、魔法みたいに自分の目の前に出てくる」仕組みが出来たら面白いと思います。

私は普段パソコンに触れる機会がありません。私は普段パソコンに触れる機会がありません。私は普段パソコンを使うのは得意ではなかったのですが、とても楽しく参加することができました。プログラミング学習は、パソコンが出来た人や得意な人にももちろん、苦手な人も楽しめると思います。

#### 「自分で考えて自分で動かす」

五年 千葉 柊弥

「参加してみて、どうでしたか。」  
今回僕たちのチームが作った作品は、ドミニコ学院小学校で飼っているうさぎのクロちゃんについてアビールするというものです。その中で、僕は「猫のキャラクターが、クロちゃんの小屋の中でお世話をしている場面」の作成を担当しました。  
最初はキャラクターの動き方や音声の出し方、何をきっかけに動くようになるのかなどの設定がとても難しく感じました。でも、段々慣れてくると簡単になってきて、角度を変えたりすることも出来るようになり、とても楽しくなりました。

「次、機会があったらどんなものを作ってみたいですか。」  
今回作ったプログラムをもっとレベルアップさせたいと思います。クロちゃんや猫のキャラクターが会話したり、猫がほungskを使ったりを集めたりする動きを加えてみたいと思います。いつもゲームを「やっている」人は、「作る」体験をしても面白いと思います。

### 先生紹介

私は小学生の頃を、鳥取県出雲市で過ごしました。通学路は田んぼと住宅街が交互に並んだような光景が広がって、途中の小川には魚やザリガニなどの生き物がたくさん泳いでいました。その頃の私は、いつも放課後は友人たちと魚を探ったり、藪の中を散策したりして過ごしていました。

小学二年生の頃、いつも遊んでいた小川の生き物の絵を自由帳に描いて遊んでいたときに、担任の先生から「細かいところまでよく覚えて描いていてすごいね。」

と、褒めてもらいました。今思うと、これが今の私の原点だったように感じます。

それから私は、身の回りで気になったことがあると、よく見て、他のものと比べて、まとめることが楽しくなり、たくさん本を読んだり、実際のものを観察したりしたものを絵や図にまとめて周りに見せていました。その時が進んで中学生の頃、友人と話しているとき、その友人から、

「藤巻は話す内容がまとまっていて分かりやすいよ。教師に向いているよ。」  
と言われました。私が教師という仕事に興味を持った最初の出来事でした。

そして現在、教師として聖ドミニコ学院小学校に赴任して半年が経とうとしています。どんな出来事や言葉が子供たちの未来を変えるのか分からないという怖さも勿論ありますが、私がこれまでに学んできた色々なことを少しでも子供たちに伝えていき、それが子供たちの将来に役立っていくことができれば、こんなに誇らしいことはありません。  
私が子供のときの担任の先生から受け取った言葉のように、私から何か少しでも受け取った子供たちが、やがて大人になり、次の子供たちに伝えていく。そんな未来を夢見ながら、これからは子供たちと全力で向き合っていきたいと思います。

二年副担任 藤巻 義也



教員生活三年目、そして聖ドミニコ学院に赴任して半年が過ぎました。多くの先生、職員の方々に支えられ、楽しく有意義な生活をおくれています。今回は自己紹介を兼ねて私が十四年間続けてきたバレーボール、中学校時代の恩師との出会いによって経験したこと学んだことを紹介したいと思います。

恩師の先生の指導は、練習量も、的確な技術指導もバカイチ。しかし、それ以上に厳しく徹底的に指導して頂いたのは精神面と、自分を見つめ直すことによる人格形成でした。挨拶・礼儀・提出物等の当たり前ことは当然にやれることの難しさ、自分自身を見つめ直すことの難しさ、自分で考え行動し、間違っていたらもう一度考え直して行動することの繰り返し、嫌になるほど毎回同じことでも悩み続け、要求されていることがわかっていても、答えることができないもどかしさ。自分が嫌になり情けなくなるそんな日々の連続。逃げたくても逃げることができない。なぜなら自分の欠点は自分が一番わかっていた自分が一番改善したいから。そんな辛い日々の中、その場凌ぎで中途半端の発言・行動で誤魔化す先生は必ず見抜き絶対認めない。どんなに悩んでも解決するのはチームメイトでも家族でも先生でもない、自分自身でした。覚悟を決め本気でぶつかり、「本物」にならないかぎり前に進むことはない。心の底から好きなバレーボールであったからこそ恩師とも「本物の本物」としたぶつかることができました。

今の私がいるのは恩師との出会い、バレーボールでの経験が大きいです。精神面での成長、自立といった部分が自分の自信へと繋がって、多くの困難を乗り越えることができました。この経験を自分の大きな自信にしていき更にステップアップし、そしてまた新たなステージで「本物の本物」になれるように一杯、力を尽くしていきたいと思います。

体育専科 梅津 郁也



# 中学校

## 福島でのスターティング

### プログラムに参加して



三年 聖ドミニコ学院小学校出身 郷司 李聖  
私達は、四月十一日から十二日にかけて福島県にあるイギリス村、ブリティッシュヒルズに英語研修に行ってきました。

プログラムに、最初は不安を抱いていた私達でした。しかし、日本国内にあるもの一歩足をふみ入れればそこは英国の世界で、建物はもちろん装飾品一つがとも綺麗でした。王様や女王様の部屋など様々な所を見学したり、英語研修をしたりしていくうちに不安は消え、楽しむ事ができました。

## 岩手での思い出



二年 聖ドミニコ学院小学校出身 佐藤 由葉  
私達は、七月十三日から三日間、野外活動で岩手に行ってきました。

初日は、盛岡での自主研修とスターウォッチングをしました。自主研修では、盛岡城跡公園や石割り桜、藤原養蜂所などの名所を見たり、わんこを冷麺を食べたりして、盛岡の歴史や文化を学ぶことができました。スターウォッチングでは、天気に恵まれ、星がはつきりきれいに見えました。それから、ホタルの光が暗い夜道を照らしてくれました。二日目は、自然体験と民泊です。自然体験では、ロープを使って木を登るツリーイング、流を登ったりして川の中を泳いで行くシャワークライミング、涼しい洞窟の中を探検する洞窟探検をして、自然に親しみ、おもいっきり楽しむことができました。民泊は、二つの班に分かれ、私の班ははうれん草を出荷している方の家に行きました。豆づくりやドライフラワー作りをしました。

三日目は、はうれん草の出荷の手伝いをし、貴重な体験をさせていただきました。とても優しい方だったので、別れるのが辛かったです。もう一つの班も、小さなかわいい



また英語研修では、一日目に部屋のメンバーごとに先生の元に行き、生年月日の確認と好きな色などの質問に英語で答えるという簡単な入国審査をしました。他にも、機内への持ち込みが禁止されている物の識別なども、少し難しい内容も、ゲーム感覚で学ぶ事ができたので、とても良かったです。

二日目は、家族や友人に送るカード作りをしました。メッセージの英文も先生に助けていただきました。メッセージの英文も先生に助けていただきました。メッセージの英文も先生に助けていただきました。メッセージの英文も先生に助けていただきました。



## 国際大会に出場して



三年 聖ドミニコ学院小学校出身 清野 絢花  
私は一月十二日から一週間、アメリカのストックトンで開催された、パシフィックリングのパンパシフィックカップという国際大会に出場しました。

小学校三年生の時から毎年全日本選手権には出場してきましたが海外での大会に出場するのは初めてだったので、今まで感じたことのない不安や緊張が日に日に増して行きました。それを少しでも取り除くには練習を重ねるしかないと思い、毎日日本番を想定した緊張感を持って練習に励みました。

日本を出発する時には沢山の方々がお見送り駆け付けて下さり、改めて自分が沢山の方に支えて頂いている事に気づけ、感謝の気持ちで



子ども達とたくさんふれ合い、とても楽しい時間を過ごせたようです。

三日間で、いろいろなことを学び、地域の方の優しさのおかげで楽しく過ごせました。また、クラスの絆も深まりました。この野外活動は、これからの私達にとってとても大切な思い出になりました。

## 剣道部の今までを振り返って



三年 聖ドミニコ学院小学校出身 菅原 尚史  
私たちが剣道部は、一県大会優勝を目標に毎日辛い稽古をしてきました。たくさん先生方や先輩方に支えられ、県大会当日は、一人一人が最大限力を発揮することができました。その結果、優勝という、今までずっと目標としてきたことを実現することができました。

次の週には東北大会がありました。昨年はベスト8まで、入賞にあたり一歩届きませんでした。その悔しさを胸に、全員で力を合わせて予選リーグから臨みました。リーグ一位で決勝トーナメントに勝



提供：河北新報社

いっばいになりました。そして沢山練習を重ねて臨んだ国際大会は、やはり大会の規模の大きさや周りの雰囲気圧倒されてしまいましたが、ような演技や結果は残せませんでした。日本選手権や海外の選手とも沢山お友達になれて、パシフィック以外でも良い経験ができました。

次に三月金沢で開催された全日本選手権は今回が六回目の出場だったので、ノミンスで切り切る事を目標にしていましたが、大会、週前に骨折をしてしまい、本番だけギブスを外して演技したものの満足いく結果を残せませんでした。これから一ヶ月治療に専念して迎えた新年度の県大会。色々なことを乗り越え今度こそはと言っている大会に臨み、エントリーした種目全てで二位を頂くことができました。

七月秋田で開催された東北大会では七度目の全日本選手権への推薦を頂くことができました。三月の全日本選手権までの間はジャパンカップ、団体で演技するマーチングバンド、パシフィック、団体で演技するマーチングバンド、パシフィック、いつも熱心にご指導下さる先生方、周りで応援して下さい、そしていつも支えてくれる家族への感謝の気持ち忘れず、また海外での大会へ出場する夢を持ち続け頑張っていくと思います。



## 活躍するドミニコ生

- 第37回東日本中学校選抜剣道大会 女子団体 敢闘賞
- 第62回北北南青森 下川杯少年剣道大会
- 中学校女子部 優勝 聖ドミニコ学院中学校A
- 第39回朝日町長杯争奪剣道大会
- 中学校女子部の部 準優勝
- 第15回全日本バントウリング選手権宮城県大会 ソロトワール女子U15 第1位 3年 清野 絢花
- 第16回全日本バントウリング選手権宮城県大会 ソロストラットU15 第1位 3年 清野 絢花
- 第25回東北中学校剣道連成大会 女子団体戦 準優勝
- 第4回東日本少年剣道連成大会 中学生女子部の部 優勝
- 第66回仙台市中学校総合体育大会 剣道競技 優勝
- 第66回仙台市中学校総合体育大会 剣道競技 第1位
- 青葉区 女子個人 第1位 3年 岩井 南美
- 第66回仙台市中学校総合体育大会 剣道競技 青葉区 第2位 3年 内田 美空
- 第66回仙台市中学校総合体育大会 剣道競技 青葉区 女子個人 第3位 3年 菅原 尚史
- 第21回仙の都中学校選抜剣道大会 女子団体 準優勝
- 第34回宮城県中学校校内放送コンテスト アナウンス部門 銅賞(全国大会出場)
- 第43回全日本バントウリング選手権 3年 四釜 礼菜
- 東北支部大会 ソロトワール女子U15 第1位 3年 清野 絢花

ち残り、決勝トーナメント一回戦も勝ち、進決勝まで残ることができました。準決勝は優勝したチームに負けてしまいましたが、第三位という結果を残すことができました。

三年生最後の試合となる全国大会は佐賀県で行われ大会は、内田美空がベスト16になりました。二日目の団体戦では、前年度優勝校に予選リーグで当たりましたが、全国レベルの試合の凄さを改めて感じる事ができ、良い試合だったと思います。

この二年半を振り返ると、私達は本当に多くの人に助けられ、励まされ、支えられてきたと思います。多くの学校の先生方、顧問の先生方、高校の先輩方、保護者の方々などの方が欠けても県大会優勝は達成できなかったと思います。感謝の気持ちを忘れずに、高校に向けて精進していきたいと思っています。



## 平成30年度 聖ドミニコ学院中学校 生徒募集要項

募集員	区分	試験日	出願期間	出願種類	試験科目	合格発表	備考
女子30名	I期	2018年1/4(木)	2017年12/1(金)~12/20(水)	推薦入試	面接	2018年1/5(金)	面接は者伴 面保護同
				一般入試	基礎学力検査(国語・算数)		
				スポーツ奨学生入試	面接		
	II期	2018年2/7(水)	2018年1/15(月)~1/31(水)	推薦入試	面接	2018年2/8(木)	
				一般入試	基礎学力検査(国語・算数)		
				面接	面接		
III期	2018年2/21(水)	2018年2/13(火)~2/16(金)	一般入試	面接	2018年2/21(水)		



今年4月から  
中学校全学年の  
給食がスタート!

- 第43回全日本バントウリング選手権 東北支部大会、フリースタイル女子Jr 第3位 3年 清野 絢花
- 第66回宮城県中学校総合体育大会 剣道競技 女子団体 第1位
- 第66回宮城県中学校総合体育大会 剣道競技 女子個人 第2位 3年 内田 美空
- 第66回宮城県中学校総合体育大会 剣道競技 女子個人 第5位 3年 岩井 南美
- 平成29年度東北中学校体育大会 第41回東北中学校剣道大会 女子団体 第3位
- 第34回N.H.K杯全国中学校放送コンテスト アナウンス部門 参加賞 3年 四釜 礼菜

# 高等学校

## 2017ドミニコ祭

### 何卒よろしくお願いいたします

ドミニコ祭企画委員長 三年

(聖ドミニコ学院中学校出身) 和山久美子



ドミニコ祭は永久に不滅です。覚えていてくれるだろうか。ドミニコ祭の閉会式で私が言った言葉である。実は、これと言ったから恥ずかしくなっ

て、しばらくは枕に顔を埋めて足をばたばたさせる日々が続いた。しかし、私は本当にドミニコ祭がずっとなくならないで欲しいと思っ

今年、ドミニコ祭は、新しいことの連続であった。テーマは「女祭」。今までにこんなに率直かつインパクトのあるテーマがあったらどうか。公式ツイッターの開設(フォロー、いいね、リツイート)してくださった皆様方、誠にありがとうございました。各団体の立看板、生徒会執行部新企画「みんなの主張」など、新企画が多い分、やることはもろくさんだった。それでも文句のひとつも言わずに仕事を引き受けてくれ

た執行部には実行委員の皆、そして全校生徒。それに、困ったときにアドバイスしてくださった先生方には本当に感謝している。(特に、宮嶋先生、木村先生、そして、異性の服を着て、全校生徒の前に立つというお願いを引き受けてくださった某先生方には、感謝しております。)

ドミニコ祭が終わって数か月経った今でもあれこれとこうしたほうが良かったのではないかとすることがある。どうしてあんなことをしたのだろうか。後悔することはない。だが終わったものは仕方がない。私達三年にとっては最後であるが、これからもドミニコ祭は続く。後輩へのバトンタッチだ。

後輩よ。あとよろしく頼む。助けが必要ならいつでも電話してほしいから。

ドミニコ祭後援会バザーを終わって後援会バザー委員長 板場 香里



私はバントワーリング部は七月三十一日のパレードと八月一日、二日に演技をしました。全員で演技をすることはできませんでしたがパレード十九名、演技十六名で精一杯踊ることができました。

二、三年生は昨年のプレ大会やバントワーリングの大会をいくつか経験しているためその場の空気感というものは何となくではあります。わかっています。しかし、一年生にとっては大会というものが初めてだったのでとても緊張していたと思います。本大会であれば入部してから夏に入る前までは基礎をしっかりとやっていく期間なのですが、今大会のため基礎と同時進行で曲を踊るという練習をしました。正直辛かったです。それでもあきらめずみんな

で踊ることができて本当に良かったです。二年生は自分の練習をしつつ後輩に教えるというのを初めて経験しました。今までは三年生の先輩がしていたことを今度は自分たちがするというのは簡単なことではありません。周りの助けを借りながらやるべきことができました。

演技と共に各自の係の仕事も行いました。大変でしたがそれぞれ思い出となったかなと思います。夏休みを返上して今大会にぞろぞろと協力して三日間をやり過ごすことができました。いろいろなと悩みもありましたがみんなで協力して三日間をやり過ごすことができました。四十七年に一度という貴重な全国総合文化祭に参加することができ、とても光栄でした。



宮城県高校総体六年連続三位入賞 剣道部主将 三年 (仙台市立七郷中学校出身) 内海 史帆



私たちが剣道部は、宮城県高等学校総合体育大会において今年度で六年連続二位に入賞させて頂きました。入賞できて嬉しい気持ちもありますが、それ以上に悔しい気持ちのほうが大きいです。私たちは三年間の高校総体で優勝すること、そして地元宮城で行われたインターハイに出場することが目標だったので、この目標達成のために部員一人ひとりが、日々の厳しい稽古に励みました。遠征においては全国大会上位校を始め、他県の選手と剣を交えることで良い刺激を受け、ここまで頑張ることができました。残念ながら目標を達成することができず悔しい思いですが、多くの方々と剣を交え、得たものはとても大きいです。第三位には満足してはおりませんが、こうして六年連続入賞できたのは顧問の先生や学校の先生方、保護者の皆様方の支えがあったからだと思います。この感謝の気持ちを忘れず後輩達には私たちが達成できなかった宮城県優勝を達成してほしいと思います。今後とも応援よろしくお願ひ致します。



### ドミニコ祭後援会バザーを終わって

七月八日に開催されましたドミニコ祭後援会バザーは大盛況の中、無事に終えることができました。ご協力頂きました皆様様に心より感謝申し上げます。

後援会として例年通り雑貨、喫茶、SDグッズ販売を行いました。雑貨コーナーは良い品を皆様の手に取りやすい価格に設定することで楽しんで頂けるコーナー作りを目指しました。喫茶コーナーは短い準備期間ではございましたがお客様がアイデアを出し合い、工夫を凝らしたメニューをご提供し、お越しい頂いた皆様をお食事を楽しんで頂けたと思います。SDグッズコーナーは今年もマフラータオルやバッグを中心に販売しました。他にも初の試みとなるロザリオ作りのコーナーを設置し大盛況の内、完売となりました。事前の予約販売にも沢山の注文を頂きました。ご商品にご協力頂きました保護者の皆様、企業の皆様には感謝申し上げます。

ドミニコ祭後援会バザーは、ドミニコ学院発展の為、また生徒たちの学校生活をより一層充実させるためという趣旨のもと開催しております。それとともに「会員間の交流と親睦」そして「地域の皆様との交流」という目的もございます。今年も後援会バザーに参加して頂いた全ての皆様のおかげで、この目的を達成できたのではないかと考えております。

末長くドミニコ祭後援会バザーを継続し、学院のため、また地域に愛されるよう学校行事であるよう努力してまいります。今後とも皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



活躍するドミニコ生

- 第43回宮城県高体連仙塩支部剣道大会 女子団体 第1位
- 第43回宮城県高体連仙塩支部剣道大会 女子個人 第2位 2年 有馬 碧良
- 第43回宮城県高体連仙塩支部剣道大会 女子個人 第3位 3年 楊 安瑛
- 第38回仙台私立高等学校女子バレーボール 春季大会 功績賞 3年 石川 紬
- 第38回仙台私立高等学校女子バレーボール 春季大会 レンジャー賞 2年 関本 朱花
- 第38回仙台私立高等学校女子バレーボール 春季大会 スパイク賞 3年 高力奈々彩
- 第38回仙台私立高等学校女子バレーボール 春季大会 功績賞 3年 石川 紬
- 第11回瑞穂杯争奪剣道大会 女子の部 第3位
- 第66回宮城県高等学校総合文化祭 剣道競技 女子団体 第3位
- 第37回高校生英語弁論大会宮城県代表選考会 奨励賞 3年 プラシエ小夜音
- 第43回全日本バントワーリング選手権 東北支部大会 トワーリング女子U-18 第6位 2年 石堂 祈
- 第2回宮城地区学生いけばな競技会 準優勝 3年 板場 香琳
- 第2回宮城地区学生いけばな競技会 佳作 3年 山口有里紗
- 第41回全国高等学校総合文化祭 パレード部門 マーチングバンド、バントワーリング部門
- 第50回仙台少年剣道錬成教室大会 高校生女子の部 第1位

### 受験生を応援する様々な特典

- ・学業、部活動奨学生では種別に応じて入学金(50,000円)と教育充実資金(150,000円)、さらに月ごとの授業料(31,000円)と教育充実費(15,000円)を3年間支給します。
- ・祖母・母・姉(在学中も含む)が中学高校の同窓生の場合、入学金(50,000円)を支給します。(他の奨学生制度で入学金が支給される場合は支給されません。)
- ・自己推薦、一般入試の専願合格者には教育充実資金(150,000円)を支給します。(学業奨学生に採用された場合は支給されません。)
- ・第一次手続きをした一般入試合格者でも、公立高校に合格し、本校への入学を辞退する場合には、第一次学統金(50,000円)は返還されます。

※詳細は「2018年度生徒募集要項」で確認して下さい。

平成30年度 聖ドミニコ学院高等学校 生徒募集要項						
科	コース	募集定員	試験日	出願期間	試験科目	合格発表
普通科(女子のみ)	特別進学コース a系、β系	55名	推薦入試 2017年12/10(水)	推薦入試 2017年12/21(木) ~ 2018年1/5(金)	推薦入試 面接	推薦入試 2018年1/11(木)
	幼児保育進学コース	60名	一般入試 [A日程] 2018年1/24(水)	一般入試 [A日程・B日程共通] 2017年12/21(木) ~ 2018年1/17(水)	一般入試 [A日程・B日程共通] 国語・英語・数学の学力試験	一般入試 2018年1/30(火)
			二次入試 2018年1/26(金)			
キャリアデザインコース	60名	二次試験 2018年3/16(金)				

※学業・部活動・同窓生奨学生制度および専願者対象に特典を設けています。詳細は「2018年度 生徒募集要項」で確認して下さい。